

2019 年度 大学院生プロジェクト型研究 成果報告会



本大学院生プロジェクト型研究は、大学院生が主体的に研究を企画・実施・報告する力を養い、研究能力を高める機会の提供を目的として実施しているものです。

上記の趣旨から、2019年度大学院生プロジェクトの成果報告会を下記の要領で行います。参加自由ですので、学生・教員の皆様は奮ってご参加ください。

日時 : 2020年3月9日(月) 13:00~17:00
場所 : 文科系総合研究棟1号館 201教室

研究課題:

1. 菅原大志 (生涯教育科学コース/博士課程後期2年)
混住化地域における共同性の生成とコミュニティ
—宮城県大崎市小泉地区におけるスポーツ実践に着目して—
2. 藤村励子 (人間発達研究コース/博士課程後期3年)
大学生の類似性認知が障害者の心的状態の推測方略の移行に与える影響
3. 奥山滋樹 (臨床心理研究コース/博士課程後期3年)
親の介護を担うヤングケアラーにおける、親子関係の役割逆転が及ぼす影響の検討
4. 小林大介 (臨床心理研究コース/博士課程後期3年)
親密な第三者の存在は高愛着不安者の交際相手への攻撃行動を低減しうるか
5. 長谷川素子 (臨床心理学コース/博士課程後期2年)
代理意思決定後に終末期がん患者の家族が経験する罪悪感の変化プロセスに関する質的研究 —遺族の視点から—
6. 佐久間啓彰 (教育政策科学コース/博士課程前期1年)
不登校経験者への支援体制から見た通信制高校の管理運営に関する研究
—教員の専門性・人員配置に注目して—
7. 宇野あかり (臨床心理学コース/博士課程前期2年)
教育達成の階層差に関連する心理的要因の検討 —時間的展望に着目して—
8. 小岩広平 (臨床心理学コース/博士課程前期2年)
「空気をよめない人」への対処行動の選択
—相手への親密さ・友人への感情・セルフモニタリング傾向に着目して—
9. 高橋恵子 (臨床心理学コース/博士課程前期2年)
統合失調症を持つ人の就労継続要因と心理社会的支援の検討